

要望書

平成 26 年度第 2 回 基準部会提出

要 望 書

平成 26 年 7 月 16 日

西東京市長 丸山 浩一 殿
西東京市子ども子育て審議会 御中

西東京市私立幼稚園連絡協議会

会長 伊藤 裕子

こみね幼稚園
田無いづみ幼稚園
田無富士見幼稚園
田無向ヶ丘幼稚園
つくし幼稚園
東京女子学院幼稚園
ひなぎく幼稚園
ひばりヶ丘幼稚園
宝樹院幼稚園
みどりが丘保谷幼稚園
武蔵野大学附属幼稚園
明成幼稚園
谷戸幼稚園

丸山浩一市長、ならびに子ども子育て審議会メンバーの皆様、また、市当局の皆様におかれましては、日頃より子ども達の健全なる育成のためにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。また、私立幼稚園の公教育における役割と責任の重要性を深くご理解いただき、一同心より厚く御礼申し上げます。

さて、平成 27 年度より「子ども子育て支援新制度」（以下、「新制度」という。）がスタートします。この制度は、「すべての子どもたちが、笑顔で成長していくために。すべての家庭が安心して子育てができ、育てる喜びを感じられるために。」というスローガンのもと、子ども・保護者の置かれている環境に応じ、保護者の選択に基づき、多様な施設・事業者から、良質かつ適切な幼児教育・保育、地域の子育て支援を総合的に提供する体制を確保することを趣旨としています。

消費税増税分 1 兆円の財源が充てられ、待機児を減らす施策として、認定こども園の増設や、保育園や小規模保育所の充実などに向けられます。しかし、「すべてのご家庭に」と明記されているにもかかわらず、現在の幼稚園児家庭や、0～2 歳の乳児を家庭で育てているご家庭に対してはわずかであり、大半の費用が待機児の解消に使われるように感じます。少子高齢社会の国家戦略として女性の労働力確保が求められ、子どもを預けて働かなくてはという風潮ですが、けっして望ましい風潮ではありません。働いている家庭を否定するわけではありません。子育てをしている家庭に平等に扱っていただきたい。女性が自分のライフスタイルを選び、平等に扱われるように願っております。

長年にわたり幼児教育を担ってきた私ども私立幼稚園は、家庭で慈しまれて育ってきた子どもたちが、やがて将来の日本を支える人材として成長する姿を数えきれないほど見てきました。子どもたちの乳幼児期を大切に過ごすことは、この国の未来を支えることに他なりません。

幼稚園には、子育てに喜びを感じ、お子さんと向き合う方も多く、幼児教育の意義をしっかりと理解され、専業主婦でありながら、パートをしながら、共働きをしながら、通わせている方が多くいます。子どものために、乳児・幼児のうち、収入は少なくとも一人の稼ぎで子育てを行っている家庭。子育てと仕事を両立させたく、フルタイムで働くより収入は少なくなるが、パートを幼稚園の終わる時間に合わせて、預かり保育をうまく利用しながら子育てを出来るだけしようとしている方も通われています。フルタイムでも、祖父母に協力を依頼しながら、夫婦で協力しながら、幼稚園の教育を受けさせたく、努力している家庭もあります。

西東京市の幼稚園の保護者のアンケートでもわかるように、幼稚園では出生率が2.0人、将来生みたい数も入れれば2.4人です。専業主婦や幼稚園の保護者も応援することも立派な子育て支援で、将来子どもの数を増やすのではないのでしょうか。保護者の多様な選択肢のためにも、保育園と幼稚園、保育園の保護者と幼稚園の保護者、幼稚園の預かり保育・一時保育と保育園、共働きと専業主婦の家庭、パートとフルタイムの家庭、それぞれに合わせた平等で適切な支援をお願いいたします。そして、子育ても立派な仕事としての価値を認め、3歳までの育児休暇、6歳までの短時間労働が認められる社会の推進（ワークシェアリング）をよろしくをお願いいたします。

また、現在保育園では、緩和策がとられ、園庭が無かったり、狭かったり、保育室が狭かったり、保育者が無資格な場合があります。是非、緩和ではなく、幼稚園の預かり保育を周知させることや、質のよい教員を確保できるように、質を改善する方策を後回しにせず支援をおねがいをいたします。

つきましては、以下の事項についてご助力いただきたくお願い申し上げます。

- 一. 新制度では、市町村は、住民ニーズ等を踏まえ、保育のみならず幼児教育も含め提供体制を整備するため「子ども・子育て支援事業計画」を作成し、これに基づき必要な給付等を行うことが義務付けられます。現在、市町村から保育所及び保育所の利用者に対しては、国の基準を上回る市町村独自の財政支援が行われていますが、幼・保を通じた給付等を市町村が一元的に担うという新制度の趣旨に照らし、こうした財政支援が幼・保を通じて公平に行われるようにしてください。
- 二. 新制度における市町村からの財政措置（施設型給付）を受けない私立幼稚園に対する就園奨励費補助事業の維持・充実を図ってください。
- 三. 新制度は幼稚園が現行制度で残ることが認められています。私学助成の維持はもちろん、それ以外に今までの補助の水準が維持されること、預かり保育・一時保育でも新制度の長時間利用時と同じ水準で補助されるようお願いいたします。

- 四. 新制度では、私立幼稚園に在籍する子どもに対する市町村からの財政処置（施設型給付）は、当分の間、経過措置として地方単独で措置する部分が残ります。私立幼稚園が従前どおり、特色ある教育活動を実施できるよう、地方単独部分を含め、国が示す水準を満たす十分な施設型給付を措置してください。
- 五. 現在、全国のほぼ全ての私立幼稚園（平成 24 年 5 月現在 94%）が都道府県からの私学助成を受けて実施している「預かり保育」は、新制度の下では、市町村が「一時預かり事業」を幼稚園に委託することにより、引き続き実施することになります。私立幼稚園が「預かり保育」を従前どおり行い、希望する保護者・子どもが幼稚園で必要な教育・保育をうけることができるよう、国が示す基準・単価等の水準を満たす「一時預かり事業」を確実に私立幼稚園に委託し実施してください。
- 六. 新制度では、認定こども園への移行を希望する幼稚園等があれば、認可・認定基準を満たす限り、認可・認定を行えるようにする特例制度が設けられています。この特例制度の趣旨を踏まえ、希望する幼稚園の認定こども園の認可・認定が円滑に行われるようにしてください。
- 七. 新制度は決定していない部分が多くあります。このままでは 10 月の入園に間に合いません。内容をきちんと「子ども・子育て審議会」で早急に話し合い、早急に説明を願います。できないのであれば、平成 27 年度は現行制度で行うことをご検討ください。
- 八. 幼稚園も最近特別支援の必要な子が増えております。特別支援教育に対して、できるだけ対応をしておりますが、とても間に合わないのが現状です。加配・補助の充実をお願いいたします。
- 九. 幼稚園では満 3 歳児、2 歳児の子育て支援活動として園庭解放や未就園児教室、育児相談などを行っております。地域の子どもが増えるためには、子育て支援が不可欠です。幼稚園の取り組みを子育て支援事業として認めて下さい。
- 十. 認定こども園・施設型給付への移行は平成 27 年度以降幼稚園の判断でいつでも可能であると聞いています。制度や公定価格や利用価格が決定しないため、移行を判断できない状況です。都道府県、市町村で移行を閉ざすことのないようお願いいたします。また、みなし確認の延長を国に対して働きかけるようお願いいたします。

幼稚園保護者アンケート結果報告書

2014. 7. 16

西東京市私立幼稚園連絡協議会

<はじめに>

今年 3 月の「西東京市子育て支援ニーズ調査結果報告書」の結果をふまえ、現在、市内幼稚園に通わせている保護者の声を、より明確にする必要性からアンケートを実施しました。全体の回収率は 8 割となり、幼稚園に通わせている保護者の意識の高さがうかがえます。平成 25 年度に実施した市の「西東京市子育て支援ニーズ調査結果報告書」と比較・検討することにより、子育て支援のあり方や方策の一助になることを期待するものです。

<調査について>

アンケート実施期間:2014 年 6 月 6 日から 13 日

アンケート対象:

西東京市の私立幼稚園(13 園中 12 園が参加)に現在通わせている主に子育てを行っている保護者全員

対象者数 2617 世帯

回答数 2075

回答率 79.3 %

<調査結果>

◆問1 子供の在園年

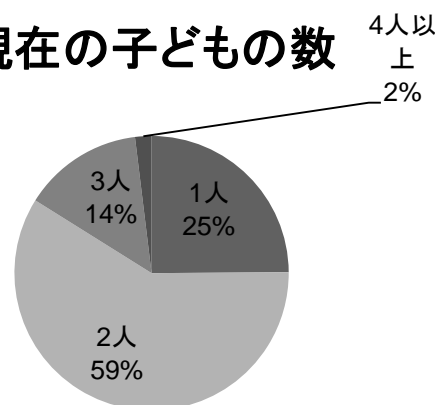
年少(3歳児)、年中(4歳児)、年長(5歳児)それぞれ同割合の回答

◆問2 現在の子どもの数

平均、2.0 名となりました。問6で聞いた将来的な希望も含めた数は 2.4 人になります。

最新の国の合計特殊出生数 1.4 人と、平成 24 年の西東京市 1.24 人と比較するには無理がありますが、少子化対策が叫ばれている中で、幼稚園に通わせている世帯は出生数に貢献しているのではないかと推測されます

現在の子どもの数



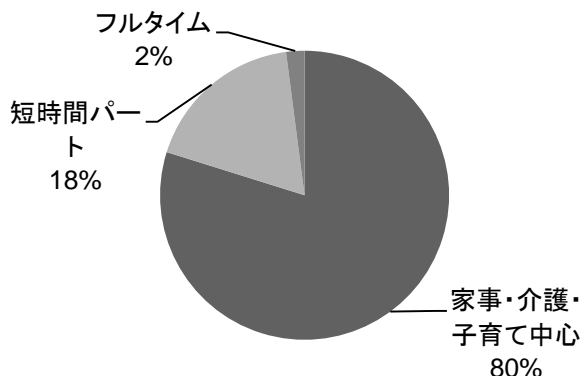
◆問3 生活・就労形態について

あえて、市の実施した「西東京市子育て支援ニーズ調査」と同じ内容にしましたので、比較してみます。幼稚園世帯では、約 8 割がいわゆる専業主婦(主夫)層でした。市の調査では 5 割弱となっており、幼稚園に通わせている世帯の特質になっていると考えられます。

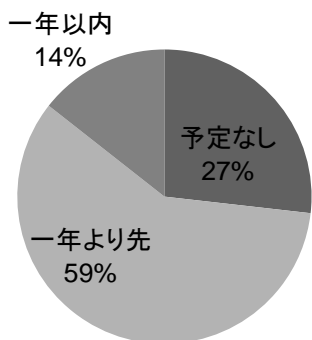
付問で、仕事を持っていない方の就労希望と形態について聞いたところ、就労希望については、予定のない方が 26.8%、一年より先が 58.8%、一年以内が 14.4%となり、市の調査とほぼ同じ結果になっています。

就労形態については市の調査がパートタイム 7 割、フルタイム 2 割に対して、幼稚園世帯では 9 割以上がパートタイムを選択しています。

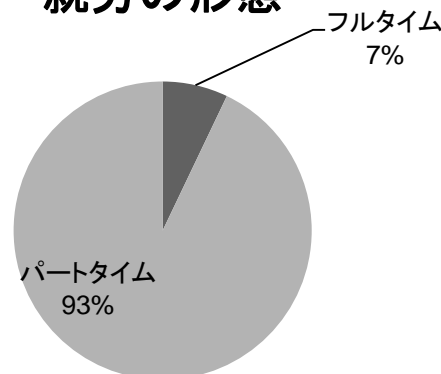
生活・就業形態



仕事を持っていない方の就労希望



就労の形態



パートタイム希望者の就業時間については、平均一週あたり 3.5 日、1 日あたり 4.8 時間という結果になりました。

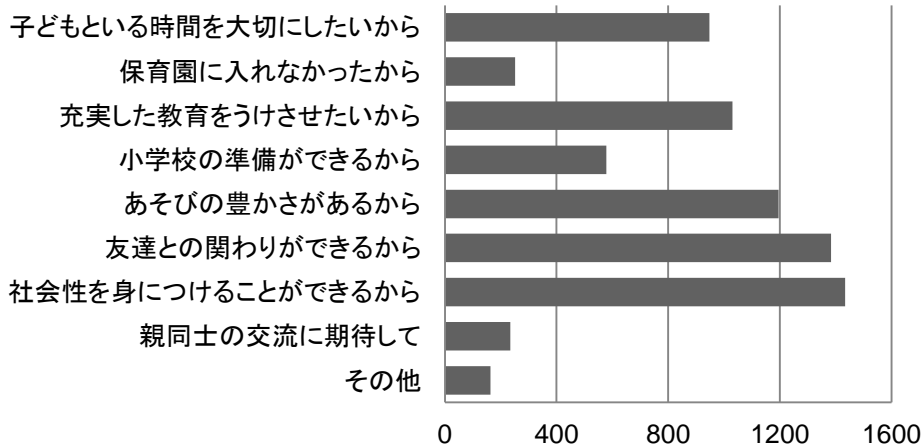
◆問4 幼稚園を選んだ理由

先に述べましたが、各幼稚園には特色があり、選んだ理由も各園違う傾向があると思われませんが、全体としてとらえてみると、上位 5 番目までは多くの支持を集めています。

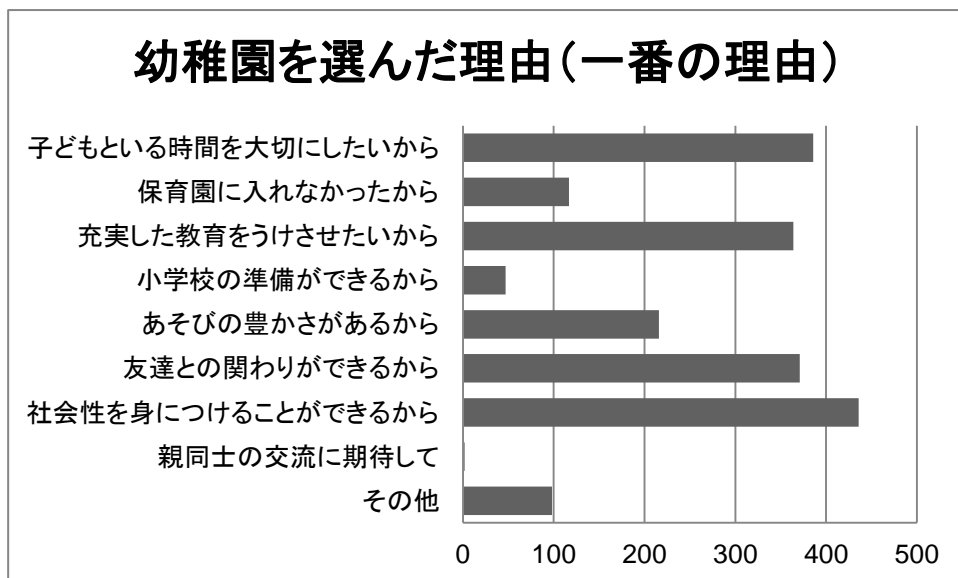
これらは幼稚園を教育機関としての位置づけで捉えている方が多いからだと思われます。

保育園と幼稚園の選択という見方では、「保育園に入れなかったから」と答えた方は 252 人

幼稚園を選んだ理由(複数回答)



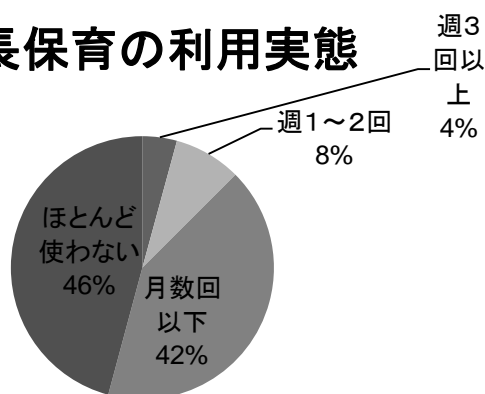
おり、全体の一割強という結果です。一番の理由となると 117 人とどまり、5.7%となりました。



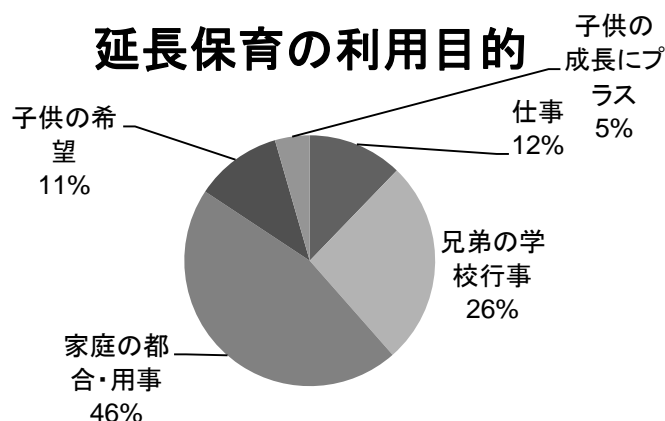
◆問5 延長保育(預かり保育)について

市の調査でも幼稚園における預かり保育についての調査が行われています。当初、利用状況が少ない傾向として結果が出ており、その検証という意味でも同じような内容のアンケートを行いました。

延長保育の利用実態



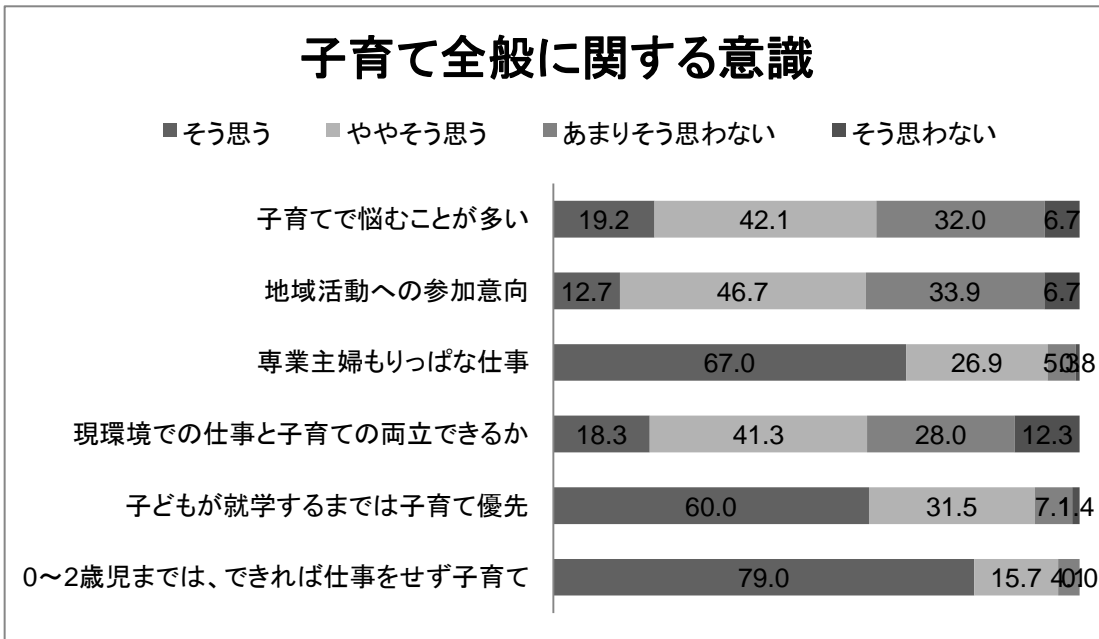
延長保育の利用目的



結果を見ておわかりの通り、9割程度が月数回以下、ほとんど使わない層となり、市の調査結果と同様となりました。ただ、この結果だけを見て、幼稚園における延長保育のニーズが低いので、力を入れなくてもいいというのは、短絡的だと思われます。現在幼稚園に通っている世帯にとってということであって、延長保育が充実していれば、保育園を選択せず幼稚園を選択する世帯がありそうだからです。どの程度あるのか。市の調査でも触れられていませんので、潜在的ニーズを探るためには保育園保護者を対象にした新たな調査が必要だと思われます。

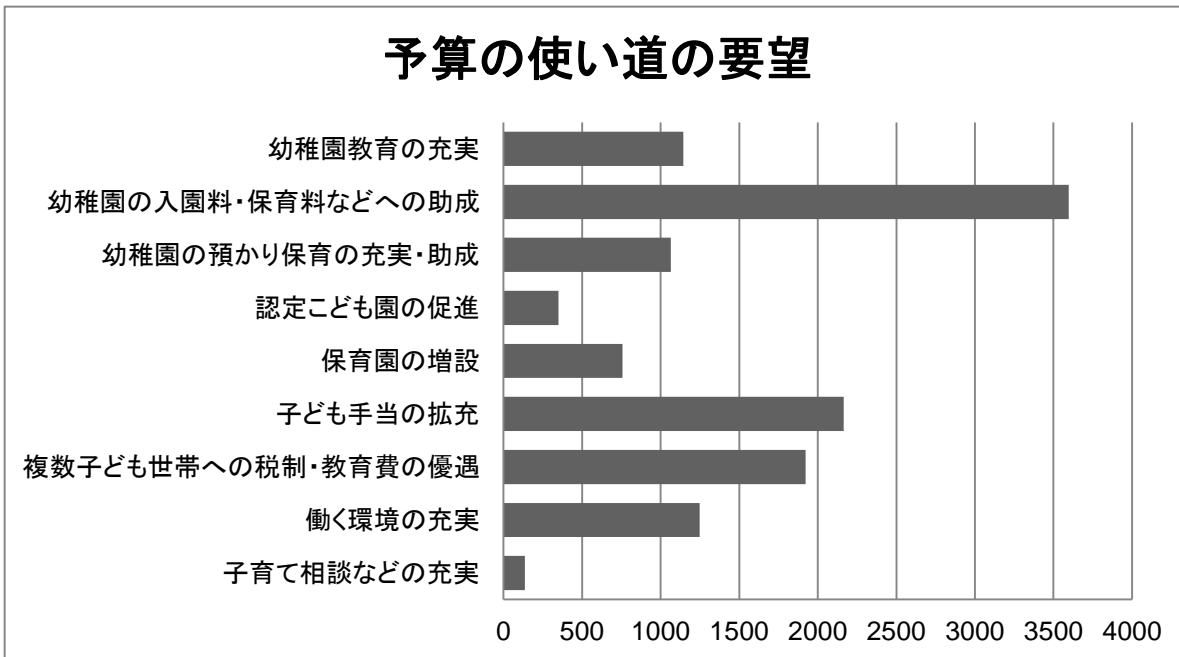
◆問7 子育て環境における意識

子育てや生活にかかわる様々な意見に対して意識を調べました。



◆問8 子育て関連予算の使い道(3位まで選択。一位3ポイント、二位2ポイント、三位1ポイント)

全体の傾向としては、家庭の経済的支援を求める家庭が多い結果となりました。



幼稚園保護者が対象の調査ですので、「保育園の増設」が低いのは想定されることでしたが、「認定こども園」についても低い結果となっています。延長保育の意向結果からもわかるとおり、現在幼稚園に通わせている世帯層にとっては、認定こども園の特質に対するニーズが少ないことが推測されます。

保護者アンケート集計速報版

アンケート実施期間:2014年6月6日から13日

アンケート対象:西東京市の私立幼稚園(13園中12園が参加)に現在通わせている保護者全員

対象者数 2617 世帯

回答数 2075

回答率 79.3 %

問1 子供の在園年

年少	736	33.8 %
年中	711	32.6 %
年長	732	33.6 %

問2 子供の数

平均	2.0 人	515	24.9 %
1人		1220	59.0 %
2人		293	14.2 %
3人		40	1.9 %
4人以上			

問3 生活・就業形態

家事・介護・子育て中心	1634 人	79.8 %
短時間パート	371 人	18.1 %
フルタイム	42 人	2.1 %

付問1 就労希望

予定なし	443 人	26.8 %
一年より先	972 人	58.8 %
一年以内	238 人	14.4 %

付問2 就労形態

フルタイム	79 人	7.1 %
パートタイム	1035 人	92.9 %
子供が	1日あたり	4.8 時間
	3.5 日	6.3 歳になった頃

問4 幼稚園を選んだ理由(複数回答)

1 子どもといえる時間を大切にしたいから	948	5位
2 保育園に入れなかったから	252	7位
3 充実した教育をうけさせたいから	1030	4位
4 小学校の準備ができるから	578	6位
5 あそびの豊かさがあるから	1195	3位
6 友達との関わりができるから	1384	2位
7 社会性を身につけることができるから	1434	1位
8 親同士の交流に期待して	235	8位
9 その他	163	9位

付問 一番の理由

1 子どもといえる時間を大切にしたいから	386	18.9%
2 保育園に入れなかったから	117	5.7%
3 充実した教育をうけさせたいから	364	17.9%
4 小学校の準備ができるから	47	2.3%
5 あそびの豊かさがあるから	216	10.6%
6 友達との関わりができるから	371	18.2%
7 社会性を身につけることができるから	436	21.4%
8 親同士の交流に期待して	2	0.1%
9 その他	98	4.8%

問5 延長保育の利用頻度

週3回以上	87	4.2%
週1~2回	170	8.3%
月数回以下	856	41.7%
ほとんど使わない	941	45.8%

問5 延長保育の利用目的

仕事	344	12.2%
兄弟の学校行事	740	26.3%
家庭の都合・用事	1289	45.8%
子供の希望	316	11.2%
子供の成長にプラス	126	4.5%

問6 子供を産み育てたい数

2.4人

問7 意識

10～2歳児までは、できれば仕事をせず子育て 子どもが就学するまでは子育て優先 現環境での仕事と子育ての両立できるか 4 専業主婦もっぱな仕事 5 地域活動への参加意向 6 子育てで悩むことが多い	思う	やや思う	あまり思う	そう思う	0.0 %
	1638	326	84	26	
	1242	652	148	29	
	379	853	579	255	
	1388	557	110	16	
	262	965	702	139	
	398	872	662	138	

10～2歳児までは、できれば仕事をせず子育て 子どもが就学するまでは子育て優先 現環境での仕事と子育ての両立できるか 4 専業主婦もっぱな仕事 5 地域活動への参加意向 6 子育てで悩むことが多い	思う	やや思う	あまり思う	そう思う	0.0 %
	79.0	15.7	4.1	4.1	
	60.0	31.5	7.1	7.1	
	18.3	41.3	28.0	28.0	
	67.0	26.9	5.3	5.3	
	12.7	46.7	33.9	33.9	
	19.2	42.1	32.0	32.0	

問8 予算の使い道 一番を3ポイント、二番を2ポイント、三番を1ポイントとして計算

1 幼稚園教育の充実 2 幼稚園の入園料・保育料などへの助成 3 幼稚園の預かり保育の充実・助成 4 認定こども園の促進 5 保育園の増設 6 子ども手当の拡充 7 複数子ども世帯への税制・教育費の優遇 8 働く環境の充実 9 子育て相談などの充実	思う	位
	1144 point	5位
	3596 point	1位
	1065 point	6位
	351 point	8位
	758 point	7位
	2164 point	2位
	1922 point	3位
	1248 point	4位
	137 point	9位

幼稚園保護者の皆様の声を、 ぜひお届け下さい！

—アンケートご協力のお願い—

西東京市私立幼稚園連絡協議会
会長 伊藤 裕子
こみね幼稚園
田無いづみ幼稚園
田無富士見幼稚園
田無向ヶ丘幼稚園
つくし幼稚園
東京女子学院幼稚園
ひなぎく幼稚園
ひばりヶ丘幼稚園
宝樹院幼稚園
みどりが丘保谷幼稚園
武蔵野大学附属幼稚園
明成幼稚園
谷戸幼稚園

拝啓

幼稚園保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は幼稚園の教育活動に対しまして、温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、新聞やテレビなどの報道でご承知の通り、平成27年度より「子ども子育て支援新制度」がスタートします。この制度は、「すべての子どもたちが、笑顔で成長していくために。すべての家庭が安心して子育てができ、育てる喜びを感じられるために。」というスローガンのもと、消費税増税分を含め1兆円の財源が充てられています。具体的な施策としては、幼稚園と保育園の両方の機能を併せ持つ、認定こども園の普及を図ることや、定員20人未満の小規模保育や保育ママなど、新たな事業の創設が計画されています。

しかしながら、「すべてのご家庭」と明記されているにもかかわらず、その中心は待機児の解消であり、大半の費用がそこに使われようとしています。その反面、「すべてのご家庭」と謳われながらも、幼稚園児家庭や、0～2歳の乳児を家庭で育てているご家庭に対しては、

何も具体的な支援はありません。

少子高齢社会の国家戦略として女性の労働力確保が求められ、誰もが子どもを預けて働かなければならないような風潮を感じますが、決してそれが望ましいことであるとは思えません。

長年にわたり幼児教育を担ってきた私ども私立幼稚園は、家庭で慈しまれて育ってきた子ども達が、やがて将来の日本を支える人材として成長する姿を数えきれないほど見て参りました。子ども達の乳幼児期を大切に過ごすことは、この国の未来を支えることに他なりません。

幼稚園には、子育てに喜びを感じ、お子さんとしっかり向き合う、多くのご家庭が通われています。また、幼稚園教育の意義をしっかりと理解され、働きながらも幼稚園に通わせたいと頑張っている保護者の方々もたくさんいらっしゃいます。そのような幼稚園に通われているご家庭のご努力を、きちんと社会に示し、就労の有無にかかわらず、すべてのご家庭が安心して子育てできる社会を創設するために、まずは保護者の方々のお考えをお聞きしたいと、以下のようなアンケート調査をさせていただくことに致しました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

平成26年6月6日

<アンケートのご記入にあたって>

- アンケートは西東京市の幼稚園に通っている保護者全員を対象に行います。
- アンケートのご記入にあたっては主に子育てを行っている保護者の方をお願いいたします。
- このアンケートは、子育て支援に役立ててもらうために、西東京市長、また、子ども子育て審議会へ集計結果を出す予定です。
- アンケートは無記名で行います。封筒に入れて6月13日(金)までに各幼稚園にお出してください。

幼稚園保護者アンケート

2014年6月6日

※このアンケートは、主に子育てを行っている方がご記入ください。

問1 現在、幼稚園に通っているお子さまの在園年は？（○はいくつでも）

1 年少	2 年中	3 年長
------	------	------

問2 在園児を含めたお子さまの人数は？

	人
--	---

問3 主に子育てを行っている方の現在の生活・就業形態は？（○はひとつ）

1 家事・介護・子育て中心	2 短時間のパート(在宅ワーク含む)	3 フルタイムのお仕事
---------------	--------------------	-------------

幼稚園に通わせる上で、どのような努力・家庭内の協力があるのかご記入ください。

--

付問1 問3で「1. 家事・介護・子育て中心」に○をつけた方について、今後就労したいという希望はありますか？（○はひとつ）

<p>1 就労の予定はない</p> <p>2 1年より先、一番下の子どもが <input style="width: 50px;" type="text"/> 歳になったころに就労したい</p> <p>3 すぐにでも、もしくは一年以内に就労したい</p>

付問2 付問1で就労の予定のある方へお聞きします。就労の形態について希望はありますか？（○はひとつ）

1 フルタイムを希望	2 パートタイムを希望
一週あたり <input style="width: 50px;" type="text"/> 日	1日あたり <input style="width: 50px;" type="text"/> 時間

【幼稚園を選んだ理由についてうかがいます】

問4 保育園や自宅での子育てではなく、幼稚園を選んだ理由について、あなたにとっての理由は何ですか？（○はいくつでも）

1 子どもという時間を大切にしたいから	2 保育園に入れなかったから
3 充実した教育を受けさせたいから	4 小学校の準備ができるから
5 あそびの豊かさがあるから	6 友だちとの関わりができるから
7 社会性を身につけることができるから	8 親同士の交流に期待して
9 その他 (<input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>)	

付問1 問4の中で一番の理由を番号で
ご記入ください。

--

【幼稚園の預かり保育(延長保育)についてうかがいます】

問5 預かり保育(延長保育)についてお聞かせください。（3歳児など、まだはじまっていない場合は予定として）
※幼稚園によって実施していない園や、実施していても時間帯は様々です。実施している園の方は現在の利用状況を、実施していない園の方は実施していると仮定したイメージでお答えください。

・利用頻度 (○はひとつ)	1 週3日以上	2 週1～2日	3 月に数回またはそれ以下
	4 ほとんど使わない (使わない理由があればお書きください)		

・利用目的 (○はいくつでも)	1 仕事のため	2 兄弟の学校行事(保護者会等)のため
	3 家庭の都合・用事	4 子どもの希望
	5 子どもの成長にプラスになるから	

【子育て全般についてうかがいます】

問6 あなたにとって、子どもを産み育てたい人数をお聞かせください。
(現在育てられているお子さまの人数に足した総数をご記入ください)

	人
--	---

問7 子育てや生活について様々な意見があります。あなたはどのように思われますか？
それぞれ4段階でお聞かせください。（○は各項目ひとつずつ）

	1	2	3	4
1. 0～2歳児までは、できれば仕事をせず家庭で育てたい…	1	2	3	4
2. 子どもが就学するまでは子育てを優先したい…	1	2	3	4
3. 現環境でも努力や家族の協力があれば仕事と子育ては両立できる…	1	2	3	4
4. 専業主婦も立派な仕事だと思…	1	2	3	4
5. 地域の活動等へ参加してみたい…	1	2	3	4
6. 子育てで悩むことが多い…	1	2	3	4

問8 あなたにとって、子育て支援に関わる予算の使い道として、重要であると思われる順に3つまで選んで下欄に数字をご記入ください。

<p>1 幼稚園教育の充実</p> <p>2 幼稚園の入園料・保育料などへの助成</p> <p>3 幼稚園の預かり保育の充実・助成</p> <p>4 認定こども園の促進</p> <p>5 保育園の増設</p> <p>6 子ども手当の拡充</p> <p>7 複数の子どもがいる家庭の税制・教育費の優遇</p> <p>8 働く環境の充実 (就学前の子育て家庭の短時間労働制、3歳までの育児休暇等)</p> <p>9 子育て相談などの充実</p>	<p>左記の項目の数字を記入してください。</p> <p>一番 <input style="width: 50px;" type="text"/></p> <p>二番 <input style="width: 50px;" type="text"/></p> <p>三番 <input style="width: 50px;" type="text"/></p>
--	---

◆ご協力ありがとうございました。6月13日(金)までに封筒に入れ、通われている幼稚園にお出しください。